

学校教育だより

安全・安心な
学校づくり



習志野市教育委員会発行

<http://www.city.narashino.lg.jp/kosodate/kyoiku/gakkyodayori.html>

習志野市鷺沼 2-1-1 電話 047-451-1151(代表)

令和元年10月23日発行 NO.110

子供たちの健康・安全のために



食育

食は命の源であり、子供たちが健やかな体を作るためには、とても大切なことです。また、健康教育を通して自分の体について考え、生活していくことも大切なことです。今号は、子供たちが健やかな体を作るために重要な食育と健康教育、子供たちが安全・安心に生活していくための防災教育、情報教育について紹介します。

実籾小学校にて千葉県漁連、千葉県水産課の職員等を講師に招き、出前講座を行いました。4年生の児童は、海苔の製造や加工の工程を学んだり、コンロを使った焼き海苔体験をしたりしました。

第110号 目次

- ◆食育 . . . 2
- ◆健康教育、むし歯予防図画・ポスター審査会 . . . 3
- ◆市総合防災訓練、防災教育 . . . 4
- ◆スマホ・ケータイ安全教室、英語発表会 . . . 5
- ◆習高生の活躍、教育長コラム . . . 6

食育

第一中学校では、9月19日(木)に「スポーツ栄養学」をテーマに家庭教育学級を行いました。当日は、68名の保護者が参加しました。

当日の講演では、体をつくるためには、運動、栄養、休養のバランスが大切であること、試合前夜、試合当日、試合の間、試合後等、それぞれの状況に応じた食事のとり方等をわかりやすく説明し、参加者はメモを取りながら話を聞いていました。



食の大切さを語る加藤校長先生

第一中学校は残菜率が非常に低いです。校長先生が食育の大切さを教職員に伝え、担任の先生方が生徒へ伝え、教職員が一丸となって食育に取り組んでいます。また、給食委員が残菜率を調べ、掲示物で結果を知らせる、放送で呼び掛ける等、積極的に取り組んでいます。家庭でも食に関する意識が高く、好き嫌いなく食べる生徒が多いです。教職員、生徒、保護者が一緒になって食育に取り組んでいる結果だと思います。

栄養教諭 周郷 美由紀 先生



具体的なエピソードを交えながら説明する周郷先生

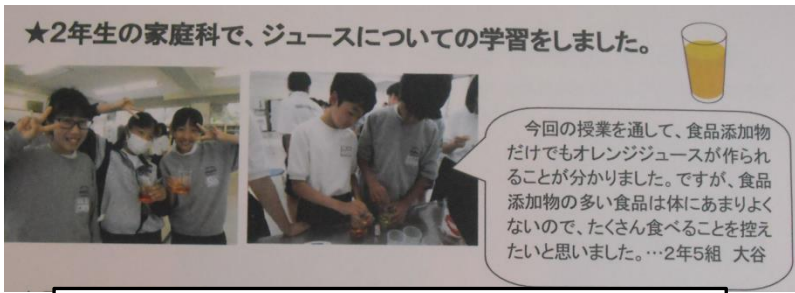
第一中学校の食育の取り組みについては、千葉県教育委員会のHP (<http://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/anzen/shokuiku/colum/h31/r1narasino-city.html>)にも紹介されています。



メロンパン、ミルク寒天、わかめサラダ、スパゲティ、じゃが芋とレバーの炒め物、牛乳、小袋健脳食



給食委員が作成した掲示物



家庭科の授業との連携(「食育だより」から抜粋)



給食を楽しそうに食べる一中生

健康教育

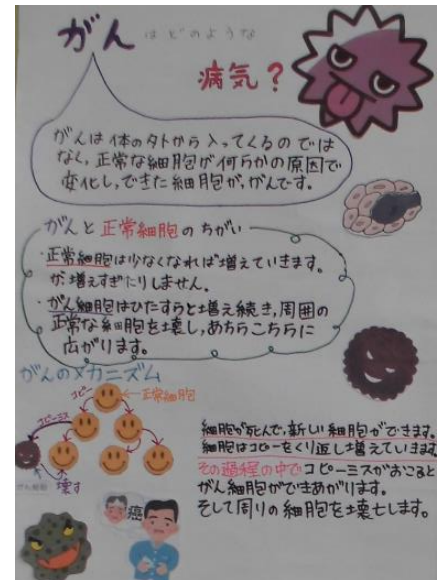
9月14日（土）午後、第五中学校にて稲穂祭（文化祭）が行われました。保健委員が毎年、健康教育に関する掲示物を作成しており、今年度は「がん」について調べました。

「がん」について調べていく中で、知らなかったことをたくさん知ることができました。例えば、今の日本は2人に1人が「がん」になってしまうことです。また、私達にできる「がん」の予防はたばこを吸わないことや偏りのない食生活を送ることなどです。皆さんには、「がん」になりやすい生活習慣をやめられなくなる前に自分で気づき、少しでも「がん」になる人が減ってくれるといいなと思いました。

保健委員長 北田 紗季

保健委員がクラスごとに「がん」について調べた内容をグラフやイラスト等を織り交ぜながら、工夫してわかりやすくまとめてくれました。自分や家族の健康を振り返るきっかけにしてもらい、五中生には、生涯にわたって健康に過ごせるような生活習慣を今のうちから身につけてほしいと思います。

養護教諭 平田 愛 先生



保健委員が作成したポスター



稲穂祭後、廊下に掲示

むし歯予防図画・ポスター審査会

市役所において歯と口の健康づくり標語の審査会が開催され、習志野市歯科医師会および健康福祉部、教育委員会による厳正な審査および投票の結果、以下の児童・生徒が選ばれました。

	小学生図画の部	小学生ポスターの部	中学生ポスターの部
第1位	熊谷真歩さん (鷺沼小)	小森生大さん (香澄小)	神田果恋さん (第七中)
第2位	高橋龍之介さん (袖ヶ浦東小)	粟澤実柚さん (津田沼小)	沖山明香莉さん (第一中)
第3位	坂野綺音さん (秋津小)	小泉絢音さん (香澄小)	嵯峨七海さん (第四中)

また、千葉県歯・口の啓発標語コンクールにて、習志野市立第二中学校の深瀬日菜乃さんが千葉県歯科衛生士会長賞に選ばれ、10月24日（木）に千葉県歯科医師会館にて顕彰式が行われます。

入選標語

「スマホより 握るその手に 歯ブラシを」



熊谷真歩さん(鷺沼小)



小森生大さん(香澄小)



神田果恋さん(第七中)

市総合防災訓練・防災教育



応急救護訓練



仮設トイレ設営訓練



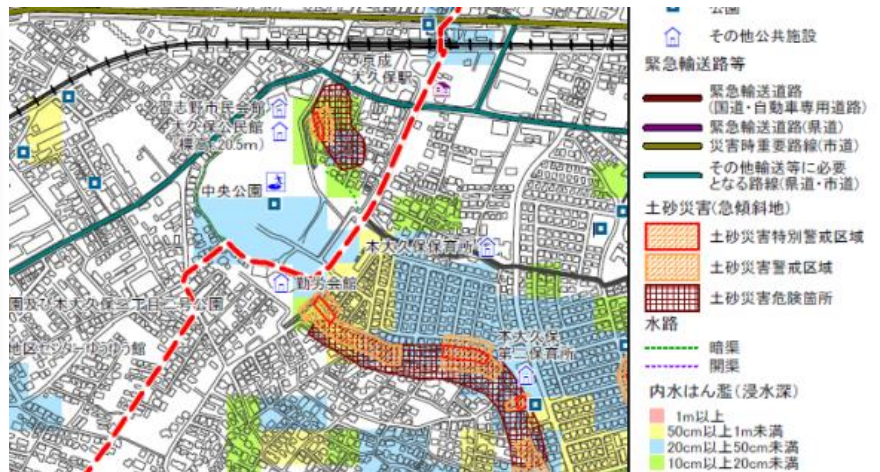
ロープ結束訓練



実籾小学校の避難訓練(日大)

9月8日(日)に市内の小学校16校、中学校7校、高等学校3校の計26箇所が避難所となり、市総合防災訓練を行いました。応急手当訓練、炊き出し訓練、ロープ結束訓練、防災資機材使用訓練等、避難所ごとに様々な内容を実施し、今年度は昨年度より多くの子供たちが参加しました。

習志野市では、習志野市の避難所運営マニュアルを基準に、千葉県北西部の震度が5弱以上の場合、学校の参集計画により行動します。習志野市で震度5強以上の地震を観測した場合、市内16箇所の小学校に地区対策支部を設置、災害対策本部が決定した避難所を開設、震度6以上の地震を観測した場合、市内26箇所すべての避難所を開設することとなっています。また、習志野市の地区別防災カルテがHP (https://www.city.narashino.lg.jp/kurashi/bosaibohan/prepare-for-disaster/saigai_jikakusyukatudoumanyuaru.html) に記載されており、それぞれの小学校区ごとの「災害発生要因図」、「液状化しやすさマップ」、「災害抑止要因図」が載っています。避難所等をしっかりと把握し、災害発生時に的確に活動が行えるようにしておくことが大切です。



大久保駅周辺の災害抑止要因図

また、実籾小学校では年間を通して、全校で防災学習に取り組んでおり、10月2日(水)は、地震によるがけ崩れを想定し、日本大学への避難訓練を行いました。今後、11月26日(火)に3年生、12月10日(火)に4年生、1月15日(水)に5年生、1月24日(金)に6年生が校内にて発表会を実施する予定です。

スマホ・ケータイ安全教室

近年、スマホやケータイに関するトラブルは多様化し、深刻な社会問題となっています。習志野高校ではNTTドコモから講師をお招きし、スマホ・ケータイを安全に利用するために安全教室を開催しました。



情報を発信する際には個人を特定できる情報を載せない。

いたずらでも犯行予告などは犯罪になる。遊び感覚で書き込んではいけない。

インターネット上で知り合った相手を安易に信用してはいけない。また、自撮り写真や個人情報を安易にSNS上に公開してはいけない。



インターネットは匿名ではないということをお子たちに伝え、SNS等への書き込みは責任をもって行うように日頃から指導していく必要があります。また、インターネットやメールは文字でのやりとりが多くなります。文字だけでは伝わらないことも多く「お互いの顔を見て話をする」ことも大切です。

各中学校で選ばれた代表の生徒が、夏休み前から英語発表会に向けて練習を重ねてきました。この英語発表会は1年生から3年生までの各学年「暗唱の部」、主に3年生が出場する「スピーチの部」があり、それぞれの部門で1位になった生徒は、10月に行われる県大会に出場することができます。どの生徒も練習の成果を発揮し、素晴らしい発表をしました。

暗唱であっても、スピーチであっても「自分の思いや考えを英語で相手に伝える力」が必要となるこの英語発表会は、本市の英語教育の発展においても大切な役割を果たしています。

今号では、1年生暗唱の部で1位を受賞した生徒に大会に向けて工夫した点、英語科の先生に暗唱指導のポイントをそれぞれインタビューしました。

令和元年度英語発表会 結果（1位）

1年生暗唱の部
淀野 華梨さん、植松 琴乃さん（二中）
2年生暗唱の部
黒沢 瑠利さん（東邦中）
3年生暗唱の部
青木 弓さん（東邦中）
スピーチの部
戸崎 奏さん（東邦中）

* 1年生の部は2人ペアまたは1人で出場することができます。

英語発表会

9月20日（金） 総合教育センターにて

1年生暗唱の部1位
第二中 淀野 華梨さん、植松 琴乃さん



大きな声で話すことと場面に応じた表情や表現方法を工夫しました。ALTの先生と1つ1つ発音を確認しながら練習しました。



英語はもちろん。ジェスチャーでも表現します。

【暗唱指導のポイント】

- ・ジェスチャーの意味を考え、効果的に使えるようにさせること（物語の内容をよく理解させる）。
- ・発音の細かい部分はALTが行う、ジェスチャーや顔の表情の作り方は教員が行う等、指導者の役割分担をすること。
- ・登場人物によって声色を変えたり、スピードを変化させたり、工夫をさせること。
- ・出場者同士で発表を見せ合い、お互いにアドバイスし合う機会の設定（異学年の交流）。

習高生の活躍

全国高等学校総合体育大会ボクシング競技大会ライト級で優勝した堤麗斗さんと第29回WBSC U-18ベースボールワールドカップに日本代表として出場した飯塚脩人さんが9月26日(木)に市役所を訪れ、表敬訪問を行いました。



堤麗斗さんと飯塚脩人さん



【部活動等の結果】

第74回国民体育大会(少年男子)			
柔道	73kg級	準優勝	市川 晃次郎
	無差別級	準優勝	栗田 真雄
ボクシング	ピン級	第3位	佐伯 侑馬
	ウエルター級	第3位	松永 敦朗
	ライト級	優勝	堤 麗斗
男子バスケットボール		第5位	

コンクール、コンテスト

第25回東関東吹奏楽コンクール 高等学校の部A部門	金賞	第62回全日本吹奏楽コンクール出場 (10月20日 名古屋国際会議場)
第25回東関東マーチングコンテスト A部門 高等学校以上の部	金賞	第32回全日本マーチングコンテスト出場 (11月24日 大阪城ホール)
第8回日本学校合奏コンクール 高等学校の部 千葉県大会	金賞 (会長賞)	第8回日本学校合奏コンクール2019全国大会・ グランドコンテスト(11月23日 千葉県文化会館)

文化活動

全国商業高等学校英語スピーチコンテスト千葉大会	第3位	尾花 真凜
-------------------------	-----	-------

～好きですふるさと習志野～ 教育長コラム

この1ヶ月余りのうちに、台風15号と19号が来襲し、大きな被害をもたらしました。被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。特に9月9日の未明にかけて通過した15号では、本県が未曾有の被害を受け、本市の教育施設においても多数の倒木や施設の一部損壊がありました。中でも君津市にある「鹿野山少年自然の家」は施設のみならず、周辺の道路や子供たちの活動場所が甚大な被害を受け、当面の施設利用を中止とさせていただきました。楽しみにしていた子供たちには大変申し訳なく思っています。

さて、この台風で在日外国人客も大きな影響を受けました。新聞記事によると交通機関が麻痺し、東京駅で立ち往生していた70代のニュージーランド人は、「どうしたらよいか分からず、英語で尋ねても上手く通じなかった。ストレスがたまる。訪日はこれで最後にしようと思う。」とインタビューに答えたそうです。記事では「日本は五輪を控え多くの人を訪れるのだから、英語が通用する国にならなければ・・・」と結んでいます。日本では、これだけ英語の学習に取り組んでいるにもかかわらず、コミュニケーションツールになりえていない現実があります。そんな中、英語スピーチコンテストを参観する機会がありました。出場した中学生は、堂々と暗唱やスピーチを行い、その表現力の高さは素晴らしいものでした。改めて「話せる英語」「通じる英語」まで高める必要性を感じました。(教育長 小熊 隆)